

令和4年6月20日

桑折町議会

議長 片平 秀雄 様

総務文教常任委員会

委員長 齊藤 謙

### 委員会調査報告書

本委員会に付託された調査事件について、調査報告を下記のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

#### 記

#### 1 調査事件

コロナ禍における教育行政（学校教育・社会教育）について

#### 2 調査目的

コロナ禍における教育行政のあり方検討のため

#### 3 調査の経過

令和3年7月6日

今後の進め方について、協議・検討を行った。また、7月12日の半田醸芳小学校でのICT活用（タブレット端末）教育状況視察について、目的・質疑内容を確認した。

令和3年7月12日

半田醸芳小学校にてICT活用（タブレット端末）教育状況の視察を行い、視察後、学校長に活用状況について質疑応答を行った。

令和3年7月27日

こども教育課長の出席を求め、7月12日半田醸芳小学校の教育状況視察

結果等を踏まえた質疑を行った。また、生涯学習課長の出席を求め、公共施設等の状況について質疑応答を行った。

□令和3年9月24日

今後の進め方について検討・協議を行った。

□令和3年10月12日

こども教育課長の出席を求め、学校教育重点施策について、質疑応答を行った。

□令和3年11月16日

調査事件の報告の時期について協議・検討を行った。

□令和4年5月12日

教育文化課長の出席を求め、質疑応答を行った。

□令和4年5月26日、6月14日

調査事件の報告書の内容について、協議検討を行った。

#### 4 調査結果

- (1) 学校教育に関しては、タブレット端末を使用した授業を視察した。タブレット端末を使用している授業は、児童生徒との間で活用格差が見受けられるが、教える側、学ぶ側も同様と思える。コロナ感染症の収束の兆しが見えない現在だが、オンライン授業の環境は整いつつある。今後、自宅での活用方法等の充実強化及び校内システムの併せた取組が望まれる。
- (2) 社会教育に関しては、現在の地区公民館の利用状況、利用者の減少、生涯学習と公民館活動の相違等についての調査から、コロナ禍にあって、町民が望む公民館事業計画を一部の団体の意見だけで判断することなく、公民館運営審議会を設置することにより、不特定多数の町民の声を反映させた事業開催の実施することで、参加者の増加も期待される。地区公民館は町民の身近な窓口であり、「集える、学ぶ、繋がる」の役割を活かし、町民ニーズに沿った進め方が望まれる。

以上のことから、学校教育では、タブレット端末を使った授業の充実強化と校内システムの有効活用を早期に取り組みされたい。

社会教育では、コロナ禍に限らずアフターコロナを見据え、各種事業並びに体制強化に努め、多くの町民の声を聴取した事業計画を樹立、強化されたい。